

資料2

令和4年度数値目標取り組み結果 [まとめ]

ホップステージ

■ A103 電気使用にかかる温室効果ガス排出量を、2019年度比で3.2%以上削減します。

[達成状況：○]

4.5%の削減となり、目標を達成できた。

電気使用量は、基準年度と比較して1.3%の減少、前年度からは4.9%の減少となった。また温室効果ガス排出量の算定に用いる排出係数が基準年の0.500から0.484に下がったことにより、排出量が大きく減少した。

	2019年度 (排出係数：0.500)	2022年度 (排出係数：0.484)	増減率
温室効果ガス排出量	3,895,661 kg-CO ₂	3,721,387 kg-CO ₂	△4.5%
参考：電気使用量	7,791,322 kwh	7,688,816 kwh	△1.3%

■ A104 公用車等の燃料使用にかかる温室効果ガス排出量を、2022年度までに2019年度比で5.5%以上削減します。

[達成状況：○]

9.7%の削減となり、目標を達成できた。

オンラインでの会議・研修が定着し、出張の機会が少なくなっていることから、特にガソリンの使用量が減少している。

	2019年度	2022年度	増減率
温室効果ガス排出量	387,756 kg-CO ₂	350,168 kg-CO ₂	△9.7%
参考：ガソリン使用量	80,289 ℓ	57,393 ℓ	△28.5%
参考：軽油使用量	78,095 ℓ	84,115 ℓ	7.7%

■ A105 公用車等の走行にかかる温室効果ガスの排出量を、2022年度までに2019年度比で0.6%以上削減します。

[達成状況：○]

6.7%の削減となり、目標を達成できた。

	2019年度	2022年度	増減率
温室効果ガス排出量	10,042 kg-CO ₂	9,369 kg-CO ₂	△6.7%
参考：走行距離	1,183,415 km	1,079,432 km	△8.8%

資料 2

- A106 その他燃料使用にかかる温室効果ガスの排出量を、2022年度までに、2019年度比で5.5%以上削減します。

[達成状況：○]

7.9%の削減となり、目標を達成できた。

灯油は近年、ほぼ横ばいで推移している。A重油は、設備の更新等により使用量が減少した。LPGは、コロナ禍以降、飲食を伴う会合やイベント等の機会が少なくなり、使用量が減少している。

	2019年度	2022年度	増減率
温室効果ガス排出量	796,932 kg- CO2	732,709 kg- CO2	△ 8.1%
参考：灯油使用量	159,558 ℓ	161,122 ℓ	1.0%
参考：A重油使用量	61,702 ℓ	52,122 ℓ	△ 15.5%
参考：LPG使用量	35,484 m ³	29,048 ℓ	△18.1%

- A107 公共事業における省エネルギーに関する環境配慮率を、90%以上にします。

[達成状況：○]

1,000万円を超える公共工事のうち、空調・照明設備等の設置・更新は6件あり、いずれも高効率の空調や照明機器等を導入した。

- A108 コピー用紙等の使用量を、2025年度までに、2019年度比で2.5%以上削減します。

[達成状況：○]

令和3年度6月から行政施設に電子決裁システムを導入したことにより、決裁のための紙出力が不要となり、大幅に使用量を減らすことができた。

	2019年度	2022年度	増減率
使用量（購入量）	24,989 kg	22,706 kg	△9.1%

- M107 環境や環境マネジメントシステムにかかる職員研修を年1回以上開催します。

職員はこれに積極的に参加し、その内容を理解します。

[達成状況：○]

環境マネジメントシステムにかかる環境マネージャー会議を8月18日に開催した。

環境学習会は3月15日、行政職員と教職員ごとにSDGsをテーマに開催し、好評を得た。

部署別研修は、のべ124回行われ、うち5回以上実施した部署は9部署あった。

資料2

- M112 ホップステージの取り組み項目や目標について、監査を年1回実施します。

[達成状況：○]

[実施日程]

令和5年1月18日	推進本部監査	
1月23日、1月25日	実行本部監査	
1月27日	全体協議	※監査対象部署：25部署

- G104 環境に関連する情報を、広報およびHPで年50件以上提供します。

[達成状況：○]

[掲載件数] 計95件

広報うちこ 暮らしのエコロジーや環境に関する活動報告・啓発など 74件
内子町HP 21件

ステップステージ

- A205 内子町環境基本計画にかかる事業の達成度を示す指数および数値目標の達成率を70%とします。

[達成状況：(○)]

59事業・106の指数・数値目標に対し、「計画通り実施できた」23.7%、「一部実施できた(半分以上)」47.5%、「一部実施できた(半分以下)」23.7%、「実施できなかった」5.1%の結果となった。

「計画どおり実施できた」「一部実施できた(半分以上)」を合わせると71.2%となり、おおむね目標を達成することができている。

- A206 内子町環境基本計画にかかる独自の数値目標を各部署で設定・実施し、その達成率を90%とします。

[達成状況：×]

222の目標の達成率が88.9%となり、わずかながら目標に届かなかった。

目標数		達成度		
		100%	90%以上	89%以下
自然	72	41	5	21
暮らし	80	52	2	23
環境教育	70	42	1	23
合計	222	135	8	67

資料 2

- M206 内子町環境マネジメント推進本部会議を年 2 回開催し、評価・見直しを行います。

[達成状況：○]

令和 4 年 7 月および令和 5 年 2 月に開催し、取組目標の決定・監査報告などを行った。

- M207 ステップステージの取組項目や目標について、監査を年 1 回実施します。

[達成状況：○]

ホップステージ (M112) とあわせて実施

- G203 環境に関する施策・事業計画等について、町民との直接の意見交換の場を年 20 回以上設けます。

[達成状況：○]

各種委員会、うちエコの実施にかかる協議、学校や地域におけるエコ見回り・環境学習会など、のべ 21 回の機会を通じて意見交換を行った。

ジャンプステージ

- A302 うちエコに賛同し実践する事業所等を 3 つ以上設け、公表します。

[達成状況：×]

コロナ禍以降、新たな呼びかけを行っておらず、目標を達成できなかった。

賛同事業所：2 事業所（丸三産業株式会社 五十崎工場、有限会社内藤鋼業）

- A305 エコロジータウン内子のまちづくりを推進するため、環境団体等が主体となって勉強会を年 1 回開催します。

[達成状況：○]

環境 NPO サン・ラブが主体となり、3 月 25 日、食品ロスをテーマに「第 17 回内子発環境会議／環境に優しい地域づくりを目指して」を開催した。

- A307 えひめ AI-1 の利用促進を図るため、環境団体が主体となり農業分野における実践活動を 1 つ以上行います。

[達成状況：○]

環境 NPO サン・ラブが主体となり、えひめ AI-1 使った竹堆肥を製造し、果樹の土壌改良にかかる実証実験を実施している。（5 年計画の 3 年目）

資料2

- A308 環境団体が主体となり、環境に関する実践活動を、他団体と連携して15回以上開催します。

[達成状況：○]

4団体・のべ55回の活動を行った。

- M304 ジャンプステージの取組項目や目標について、監査を年1回実施します。

[達成状況：○]

ホップステージ（M112）とあわせて実施

- G302 町民や事業者、団体、自治会等の環境への取り組みについて、年1回は広報で紹介するとともに、年次報告書に掲載し公表します。

[達成状況：○]

広報掲載：16回

年次報告書（「内子町環境報告書」）を町HPにて公表

- G303 住民、団体等による主体的な活動を5種類以上サポートします。

[達成状況：○]

3団体・5種類の活動について、年間を通じてサポートを行った。